

多様な世界における 社会課題を あなたはどう解決する？



テーマ	多様な世界における社会課題をあなたはどう解決する？
概要	あらゆる分野で多様化や技術革新、ボーダーレス化が進む今日、問題はより複雑化しているように見受けられる一方で、アイデアと意志があれば、個人が世界を変えられていくことができる時代が到来しているともいえます。 新渡戸リーダーシップ・プログラム（旧：新渡戸国際塾）は、自ら考え、社会課題を解決する将来のリーダー育成に向け、充実の講師陣による講義に加え 169 名のフェロー（卒業生）のネットワークで、あなたの活動をサポートします。 「国際関係・地域研究・地政学」「社会システム・ガバナンス・イノベーション」「文明論・哲学」「アート・デザイン」という 4 つの国際文化会館の柱をベースに、多様なテーマの講義を準備しております。
参加資格	社会的な課題に対し革新的な視点や方法で取り組んでいる、または取り組もうとしている 45 歳までの方。業種や職種、経験、国籍は問いません。基本、講義は日本語ですが、英語で講師に質問が可能な方（英語ネイティブである必要はありません）。 講義は基本対面式のため国際文化会館にて講義を受けることが可能な方。 ウェブサイトにてプログラム詳細と応募書類を確認・ダウンロードの上、E メールで <nitobejuku_ihj(at)i-house.or.jp>宛てにお送りください。*(at)を@に変更のこと
定員	最大 12 名
参加費	16 万円（講義、特別セッション、開講式・修了式開催費用、岩手スタディツアーの宿泊・現地交通費・食費分、湘南国際村研修合宿の宿泊、食費分含む） ※東北スタディツアー、湘南国際村の研修合宿および日帰りツアー開催時の現地までの往復交通費はフェローが別途負担。 ※学生の方で支払いが難しい方は一部補助を検討いたしますので、その旨応募書類に記載ください。
応募締切	2025 年 7 月 25 日(金)午前 10 時 必着
応募書類	応募フォーム（指定フォームに入力）及び小論文（フォーマット自由、A4、2 枚以内、応募フォームとの内容重複可）* 提出物は PDF にして送ること

小論文 テーマ	「自身が重要と考える社会課題と解決方法」（以下3点含む） ①取り上げる課題と理由、②社会に与えるインパクト、③解決のために自身が果たせる役割
面接日程	8月3日(日)（書類選考通過者のみ）

プログラム日程

8/31(日)	10:00am- 12:00pm	開講式＆オリエンテーション 細谷雄一（国際文化会館理事；慶応義塾大学教授）による イントロダクション・セッション
	1:30-5:00pm	新渡戸フェロー同窓会（参加推奨）
9/5(金)	6:30-8:30pm	講義①「未来を実装する」 馬田隆明（東京大学 Found X ディレクター）
9/20・21(土・日)		研修合宿 in 湘南国際村（個々のフェローが重要だと考える社会課題、問題意識や将来へのビジョンについて発表し、他フェローやアドバイザーにフィードバックいただくための合宿） ゲスト講師：梅田優祐（秋谷葉山国際学園学園長、モノクローム代表取締役、ユーザベース創業者）
10/15(水)	6:30-8:30pm	講義②「現場目線の自治体改革」（仮題） 熊谷俊人（千葉県知事）
10/24・25(土・日)		岩手スタディ・ツアー（少子高齢化社会における貨客混載バス、宮沢賢治の思想、多田自然農場にて農家からみた日本の農業の課題、震災から学ぶリーダーシップなどについて学ぶツアー）
11月	日程調整中	講義③「不確実な時代に身体感覚という軸をたてる」（仮題） 室伏広治（スポーツ庁長官、東京科学大学特命教授）
12/12(金)	6:30-8:30pm	講義④「データにみる労働」（仮題） 吉田浩一郎（株式会社クラウドワークス 代表取締役社長 CEO）
2026年 1/17(土)	2:00-5:00pm	講義⑤「建築、都市、開発」＊銀座建築ツアーおよびご講義 青木淳（建築家）
1月-2月	日程調整中	講義⑥「キュレーション理論と実践」 長谷川祐子（前金沢21世紀美術館館長；東京藝術大学名誉教授）
2/6(金)	7:00 -9:00pm	講義⑦「労働供給制約時代の経営戦略」 富山和彦（IGPI グループ会長）
2/20(木)	6:30-8:30pm	講義⑧「トランプ時代の地経学」 鈴木一人（地経学研究所所長；東京大学教授）
3/7(土)	2:00-5:00pm	フェロー発表および修了式（修了式後、懇親会）

注1 ※上記のほかフェロー決定次第、フェローの注力テーマに沿った「特別セッション」（任意参加）を1, 2回設定予定。

注2 ※プログラムや日程は、講師の都合などにより、変更になる場合があります。

メンターシップ制度：各フェローの問題意識やプロジェクトについて対話し、助言をするメンターを同窓生（現在 169 名）の中から依頼。月に 1, 2 回ほど現状考えているプロジェクトなどについてメンターと話し合い、助言をいただく機会があります。

本事業は一般財団法人 MRA ハウスおよび一般財団法人東京倶楽部のご助成、株式会社経営共創基盤、株式会社クラウドワークス、株式会社静岡銀行のご協賛を受けて実施しています。

問い合わせ：公益財団法人国際文化会館 プログラム部門

〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16

TEL: 03-3470-3211 E-mail: nitobejuku_ihj(at)i-house.or.jp

<https://www.i-house.or.jp/programs/activities/nitobejuku/>